

授業科目	上級日本語					単位	1	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO12003J	
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2			
担当教員	高橋 幸夫							
授業概要	大学内外でのコミュニケーションに参加・交流可能な日本語能力の育成を図る。 具体的には下記の内容とする。 ①初級・中級日本語からのステップアップ ②口頭・文章表現の能力向上 ③日本語の新聞を活用する。記事トピックスを選択し、それについて議論する能力向上と日本語レポート作成技術を身につける。							
学生が達成すべき 行動目標	①大学内外でのコミュニケーションに困らない能力を身につける。 ②新聞などジャーナリズムで使用されている語彙を正確に読み取ることができる。 ③新聞などの文章を正確に読み取り、ディスカッションできる能力を身につける。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	50	30	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)			30	20		10	60	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		10	10				20	
思考・判断 (DP2-2)			10	10			20	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学内外で時事問題を取りあげてコミュニケーションできる。				大学内外で生活・交流に困らない日本語運用能力を身につける。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間 (分)
1	授業概要説明・オリエンテーション			講義		授業概要の復習		30

2	日本のメディアについて①	講義	授業の復習	60
3	日本のメディアについて②	講義	授業の復習	60
4	日本のメディアに接する①	講義・ディスカッション	授業の復習	60
5	日本のメディアに接する②	講義・ディスカッション	授業の復習	60
6	日本のメディアに接する③	講義・ディスカッション	授業の復習	60
7	前半講義のまとめ・小テスト	講義・ディスカッション	授業の復習	90
8	日本の時事問題を考える①	ディスカッション	課題予習	90
9	日本の時事を考える②	ディスカッション	課題予習	90
10	課題発表①	講義・学生発表	発表準備	90
11	課題発表②	講義・学生発表	発表準備	90
12	日本の学生と議論する①	ディスカッション	テーマについての予習	90
13	日本の学生と議論する②	ディスカッション	テーマについての予習	90
14	日本の学生と議論する③	ディスカッション	テーマについての予習	90
15	講義のまとめ レポート提出	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本語の基礎知識を有すること。 初級、中級日本語科目を履修していること。			
テキスト	第1回ガイダンスで指示する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じ指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日本のメディアに日頃から接し、語彙力、問題意識を高めておく。			
達成度評価に関するコメント	小テスト、レポート、発表で試験に代える。 授業、ディスカッションなどへの日頃の取り組み姿勢も評価対象、達成度評価対象とする。			